

激甚化・頻発化する台風や集中豪雨等の災害への対処能力を向上させる資機材・車両の改良・開発	
背景・意義等	<p>気候変動の影響により、台風や集中豪雨等による被害が年々深刻化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間降水量 80mm 以上、3時間降水量 150mm 以上、日降水量 300mm 以上など強度の強い雨は、1980 年頃と比較して、おおむね 2 倍程度に頻度が増加 ・ 今後、気候変動に伴う大雨の増大や洪水発生頻度が高まることが予測されており、これまで以上に水災害の激甚化・頻発化が懸念 <p>このことから、激甚化・頻発化する災害への対処能力を向上させた小型車両等に係る研究開発・活用検証が必要である。</p>
最終的な完成品のイメージ	<p><研究開発の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨等による道路冠水時において、車両の安全性及び走破性を確保するための車両・資機材等の開発及び活用に関する検証
備考	<p>(参考) 消防技術戦略ビジョン https://www.fdma.go.jp/mission/develop/items/r8/r8_bizyon.pdf</p>